

森のアトリエ

期待される効果

健康な心と体	自立心	共同性	意識・道徳性・規範	社会生活と関わり	思考力の芽生え	自然の関わり・生命尊重	心・文字等への関心・感覚	数量・図形・言葉による伝え合い	表現豊かな感性と	自然への気づき					
○	○	○			○	○	○	○	○						

活動場所	運動広場・松林・木崎浜	対象	未就学児～小学校低学年
班の人数	—	所要時間	2時間半以上
団体側の準備物	帽子・水筒・タオル・材料を集める袋・作品を持って帰る袋		
施設側の準備物	のこぎり・金づち等工具類、カラーペン・テープ・のり・グルーガン・ボンド 色紙・画用紙等文房具類 など		

活動の内容

- 自然の中を散策しながら自然物を拾い、拾った自然物で自分の作りたいものを作成する。
- 採取・思考・創作のプロセスを自分の五感を通して体験することで、自然と自分とのつながりを感じる。
- 日頃「あぶない」と言われている道具をあえて使ってみることで、自分の身を守る・他者への思いやりの心を養う。
- 自分が考えた創作物を自分自身の力で表現する。



活動の流れ

- ① 活動についての説明
《ルール》
 - ・ 野外を散策しながら、自然物を拾う。
 - ・ 拾ってきた自然物を使って、創作物を作成する。
- ② 活動開始
- ③ 鑑賞会・ふりかえり

留意点

- 津波警報発令時は、**自然の家屋上**へ避難する。
- 班で行動し、適度に休息・水分補給を入れる。
- 移動の際は、車や人の通行に注意する。
- 危険と思われる物には触らない。（液体の入った容器等）

引率者の動き

- (事前)
- 自分の作品をどんな作品にするか、決めておく。
 - 材料調達をするエリアを確認する。
 - 創作物の作成の際、使用する道具の確認をする。（ハサミ・のこぎり・小刀・グルーガンなど）
- (当日)
- 津波警報発令時は、**自然の家屋上**へ避難誘導をする。
 - 研修生の安全管理に努め、水分補給を促す。